



倉吉文化財 さんぽ



倉吉文化財マップ

倉吉は古代より伯耆国庁、国分寺が置かれ、政治・文化の中心地として栄えてきました。室町時代に打吹山城下に築かれた城下町は、江戸時代末期～大正時代に稲扱千歯や倉吉緋などの商いで財を成した商家によって発展しました。

「伯耆の国 国庁跡、国分寺跡、陣屋町倉吉の町並み」は“美しい日本の歴史的風土100選”に選ばれています。

倉吉博物館所蔵の文化財 42～50ページ
 鳥取県立博物館所蔵の文化財 50～51ページ
 倉吉の工芸・民俗・伝統芸能 52～55ページ

琴浦町





倉吉市の指定文化財一覧 (国16・国選定1・国登録32・県48・市27 計124)

(令和6年3月現在)

分類	名称	所在地	指定年月日	ページ
国指定 重要文化財				
建造物	長谷寺本堂内厨子	仲ノ町 長谷寺	S.63.12.19	21
彫刻	木造阿弥陀如来坐像	桜 大日寺	T.11.4.13	33
	木造持国天立像・木造増長天立像	長 谷 大慈寺(盗難)	T.12.3.28	
	木造地藏菩薩半跏像	関金町関金宿 地藏院	S.54.6.6	39
考古資料	伯耆国分寺古墳出土品	国 府 国分寺	S.34.6.27	27
	子持壺形須恵器 脚付子持壺形須恵器	倉吉博物館 (文化庁所有)	S.60.6.6	42
	鳥取県野口一号墳出土須恵器	倉吉博物館	H.6.6.28	43
	鳥取県谷畑遺跡出土祭祀遺物	倉吉博物館	H.8.6.27	43
国指定 重要有形民俗文化財				
民俗	倉吉の鑄物師(斎江家)用具及び製品	倉吉博物館	S.60.4.19	44
国指定 史跡				
史跡	三明寺古墳	巖 城 山名寺	S.6.11.26	10
	大原廃寺塔跡	大 原	S.10.12.24	09
	伯耆国分寺跡	国 府・国分寺	S.49.3.12	28
	阿弥大寺古墳群	下福田	S.56.5.11	32
	伯耆国府跡 国庁跡 法華寺遺跡 不入岡遺跡	国 府・国分寺・不入岡	S.60.5.14 H.10.9.11 H.12.9.6	28
	大御堂廃寺跡	駄経寺町2丁目	H.13.1.29	11
国指定 天然記念物				
天然記念物	波波伎神社社叢	福 庭 波波伎神社	S.9.5.1	07
国選定 重要伝統的建造物群保存地区				
	倉吉市打吹玉川 伝統的建造物群保存地区	倉吉市研屋町、魚町、東仲町、 西仲町及び西町の全域並びに、 堺町1丁目、新町1丁目、新町 2丁目及び新町3丁目の各一部	H.10.12.25 H.22.12.24	11
国登録 有形文化財				
建造物	協同組合倉吉大店会 (旧第三銀行倉吉支店)	魚 町	H.8.12.20	17
	旧高田酒造 醸造蔵一、醸造蔵二	新町2丁目	H.13.8.28	14
	旧倉吉町水源地 ポンプ室、量水室	余戸谷町	H.15.3.18	25
	豊田家住宅(久米郡倉吉驛)主屋、離れ	西 町	H.18.3.27	14
	清水川第一堰堤、第二堰堤、第三堰堤、 第五堰堤、第六堰堤	関金町堀	H.16.7.23	40
	小鴨川第一号堰堤、第二号堰堤、第三 号堰堤	関金町明高	H.16.7.23 H.16.11.8	40
	倉吉市役所本庁舎	葵 町	H.19.7.31	17
	山陰民具店舗兼主屋	西岩倉町	H.19.10.2	19
	大社湯(第三鶴の湯)浴場及び主屋	新町3丁目	H.22.4.28	13
	飛龍閣	仲ノ町	H.23.7.25	18
	矢城家住宅 主屋	横 田	H.27.11.17	32
	丸井家住宅 主屋、離れ、土蔵、茶室、 待合及び塀・袖垣、塀	越中町	H.29.10.27	20
	旧小倉家住宅 主屋、土蔵	河原町	H.30.11.2	24
	賀茂神社本殿	葵 町	R.元.12.5	18
	旧高多家住宅主屋	河原町	R.3.6.24	24
国登録 有形民俗文化財				
民俗	鳥取の二十世紀犁栽培用具 倉吉の千歯扱き及び関連資料	鳥取二十世紀犁記念館 倉吉博物館	H.27.3.2 H.27.3.2	53 44

分類	名称	所在地	指定年月日	ページ
県指定 保護文化財				
建造物	永昌寺十三重塔	岩 倉 永昌寺	S.31.5.30	36
	鳥飼家住宅	関金町関金宿	S.49.3.29	39
	長谷寺本堂及び仁王門	仲ノ町 長谷寺	H.19.4.27	21
	桑田家住宅及び醤油醸造施設	東仲町	H.22.9.17	16
	高田酒造(高田家住宅及び醸造施設)	西仲町	H.22.9.17	15
	小川家住宅	河原町	H.27.4.7	23
彫刻	秋葉大権現	八 屋 秋葉堂	S.29.6.9	09
	木造稻荷像(勝宿禰神社)	倉吉博物館 (勝宿禰神社護神会所有)	S.31.5.30	50
	木造稻荷像(神庭神社)	県立博物館 (神庭神社所有)	S.31.5.30	50
	不入岡の石仏	不入岡	S.31.5.30	29
	木造日光菩薩立像 木造月光菩薩立像	八 屋 極楽寺	S.32.2.6	08
	伯耆国分寺石仏	国分寺 社小学校	S.31.5.30	29
	木造薬師如来立像	桜 大日寺	H.6.4.19	33
	銅造誕生釈迦立像(胎蔵寺)	倉吉博物館 (胎蔵寺所有)	H.7.4.21	46
	銅造誕生釈迦立像(小田出土)	倉吉博物館 (個人所有)	H.7.4.21	45
	木造狛犬	大 宮 小鴨神社	S.62.12.25	35
	石造大日如来坐像	桜 大日寺	H.24.11.6	34

彫刻	木造菩薩形立像	桜 大日寺	H.29.4.11	34
	鉄造白山本地仏像	西岩倉町 吉祥院	R.3.6.18	25
工芸品	三彩稜花刻花文盤	東 町 大岳院	S.31.5.30	19
	梵鐘	仲ノ町 長谷寺	S.31.5.30	21
	宋青磁香炉	県立博物館 (地蔵院所有)	S.29.9.21	51
工芸品及び考古資料	擬宝珠	県立博物館 (地蔵院所有)	S.29.9.21	51
古文書	山名氏尼子氏文書	和 田 定光寺	S.31.5.30	30
	小鴨元清家臣連署起請文木札	大 宮 小鴨神社	H.30.10.9	35
絵画	五百羅漢図	和 田 定光寺	H.28.4.26	30
考古資料	埴輪人物	倉吉博物館	S.31.5.30	46
	埴輪鹿 (倉吉市蔵城向山142号墳出土)	倉吉博物館	S.55.3.4	47
	袈裟禪文銅鐸 倉吉市小田出土	倉吉博物館	H.4.4.14	45
	阿弥大寺弥生墳丘墓群出土遺物一括	倉吉博物館	H.4.4.14	48
	不入岡遺跡 古墳時代竪穴住居出土遺物一括	倉吉博物館	H.28.4.26	47
	大御堂廃寺跡出土遺物	倉吉博物館	R.3.6.18	48
	史跡伯耆国跡出土八棱鏡鑄型	倉吉博物館	R.5.6.13	49
県指定 無形文化財				
工芸技術	緋 (技術保持者 福井貞子)	福 庭	H.17.11.29	52
	木工芸 (技術保持者 福田豊)	黒 見	H.28.10.25	52
	染織 (技術保持者 吉田公之介)	鍛冶町	R.2.5.22	52
	陶芸 (技術保持者 河本賢治)	福 光	R.4.4.26	53
県指定 無形民俗文化財				
民俗芸能	さいとりさし	関金町大鳥居	S.49.10.18	55
県指定 有形民俗文化財				
民俗資料	長谷寺の絵馬群	仲ノ町 長谷寺	S.32.2.6 S.45.9.1 H.20.12.19	22
	鳥取県の緋関係資料	福 庭	H.29.4.11	52
県指定 史跡				
史跡	石塚廃寺塔跡	石 塚	S.31.5.30	37
	福庭古墳	福 庭 波波伎神社	S.31.5.30	07
	大日寺古墓群	桜 大日寺	S.58.4.26	34
県指定 天然記念物				
植物	大日寺の大イチョウ	桜 大日寺	S.31.3.20	34
	関金のシイ	関金町安歩	S.48.3.30	40
県指定 名勝				
庭園	桑田氏庭園	東仲町	H.22.9.17	16
	高田氏庭園	西仲町	H.22.9.17	15
	小川氏庭園	河原町・余戸谷町	H.27.4.7	23

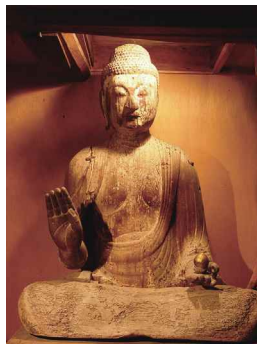
分 類	名 称	所 在 地	指定年月日	ページ	
市指定 有形文化財					
建造物	永昌寺石造宝塔	岩 倉 永昌寺	S.61.8.1	36	
	一石彫成五輪塔	広 瀬	S.61.8.1	38	
	旧牧田家住宅 (主屋・付属屋)	東岩倉町	H.19.2.22	13	
彫刻	木造薬師如来坐像	下古川	S.61.8.1	06	
	木造薬師如来坐像	八 屋 極楽寺	H.16.3.25	08	
	木造地藏菩薩立像	鍛冶町1丁目 満正寺	H.16.3.25	26	
	大滝山観音堂 木造十一面千手観音立像	関金町関金宿 大滝山観音堂	S.58.4.15	41	
	木造十一面観音菩薩坐像	仲ノ町 長谷寺	H.19.10.23	22	
	木造大日如来坐像	井手畑 胎藏寺	H.28.3.28	06	
	木造阿弥陀如来及両脇侍立像	蔵 城 山名寺	R.6.3.29	10	
	木造阿弥陀如来立像	新町3丁目 誓願寺	R.6.3.29	26	
美術工芸品	三十六歌仙額	大 宮 小鴨神社	H.25.1.29	35	
絵画	舞楽青海波図屏風	倉吉博物館	H.30.3.30	49	
	春宵宣行図屏風	倉吉博物館	H.30.3.30	50	
市指定 無形文化財					
芸能	牛追掛節	上福田	S.53.5.23	54	
	市指定 無形民俗文化財				
	民俗	みつぼし踊り (福光伝承)	福 光	S.55.3.4	54
		生田の管粥神事	生 田	H.10.9.16	54
関金御幸行列		関金町関金宿・大鳥居	H.23.6.7	55	
倭文神社大名行列		志 津	H.23.6.7	54	
市指定 史跡					
史跡	国分寺古墳	国 府 国分寺	S.53.5.23	27	
	家ノ後口古墳群	岩 倉	S.53.5.23	36	
	大宮古墳	大 宮	S.58.5.20	37	
	三度舞大將塚古墳 (弥生墳丘墓)	大 谷	S.63.7.7	31	
	上神大將塚古墳	上 神	S.63.7.7	31	
	藤井谷廃寺塔跡	関金町松河原	S.53.1.11	41	
	倉吉荒尾家墓所	仲ノ町	H.18.3.23	20	
	広瀬廃寺跡	広 瀬	H.21.4.1	38	

もくぞうやくしにょらいぎぞう てんぶぎょうたいぶ ぼさつぞう
市 木造薬師如来坐像附天部形体部及び菩薩像

マップ1

有形文化財(彫刻)/平安

10世紀中期～11世紀初め頃に造像された薬師如来坐像は像高124cm。ヒノキの一木割矧造の技法で作られています。天部形体部と菩薩像は激しく損傷していますが、一木造でやや古いものです。昔、三朝三徳山から洪水で流れついたものを村人がまつって今に至ったものと伝えられます。



所在地 下古川
公開状況 非公開



もくぞうだいにちにょらいぎぞう
市 木造大日如来坐像

マップ2

有形文化財(彫刻)/平安

胎蔵寺の本尊。像高は76.3cm。一材から彫り出して内刳を施さない古い特徴をもちます。体部の量感が控えめなことや、穏やかな顔立ちであることなど、平安時代中頃の作風の特徴があります。



所在地 井手畑 胎蔵寺
公開状況 非公開



ははきじんじゃ 波波伎神社

波波伎神社は大平山西麓に鎮座し、式内社、旧県社で伯耆二宮ともいわれます。創祀は未詳ですが往古、波波伎は母来に由来する伯耆のことであり、近くに海田などの地名もあって由来ある海神として尊崇されてきました。敷地内には国指定天然記念物の波波伎神社社叢や県指定史跡の福庭古墳が所在します。

所在地 福庭
公開状況 公開
交通 倉吉駅から市内線で5分、
(バス) 「倉吉バスセンター」下車、徒歩9分



国 ははきじんじゃしゃそう 波波伎神社社叢

マップ3

天然記念物

樹齢400年を超えるスダジイを主とする暖帯照葉樹林でシイ、タブノキ、ツバキなどの高木、亜高木、中低木と美しい三段林叢を形成しています。



県 ふくぼこふん 福庭古墳

マップ3

史跡／古墳

7世紀前半に造られた古墳。円墳または多角形墳で、直径35m、高さ4m、石室の全長は9.5mあります。この地方で最も整美な切石積みの横穴式石室をもちます。



保護文化財(彫刻) / 平安

極楽寺の本尊の脇侍。両像とも像高101cm、ヒノキの一木造。日光菩薩像は右手を挙げ左手を下ろして日輪をとり、月光菩薩像は左手を挙げ月輪をとります。ともに丸顔に小ぶりの目鼻立ちで穏やかな顔つきをしており、衣文の浅く優雅な彫口などから、和様彫刻様式をもつ平安時代末期の制作と思われます。【写真両脇】



有形文化財(彫刻) / 平安

目を彫目とするヒノキ材寄木造で、像高約91cm。脇侍の日光・月光菩薩像の中尊像。右手は胸前で施無畏印を結び、左手は膝辺で与願印をなし、掌の上に薬壺を載せ、右足を外にして結跏趺坐しています。上体の奥行きが深いことや衣紋の表現から作風は平安時代初期風で、両脇侍と同時期の作と推定されています。【写真中央】

ごくらくじ
極楽寺

創建時期は不明ですが、享保年中に大岳院の秀山可春しゅうざん かしゅんを勧請開山とし、こうがんぜんきょう紅巖禪暁により再興された曹洞宗の寺院です。

所在地 八屋
公開状況 毎年9月7日に公開。
交通(バス) 倉吉駅から市内線で5分、「ハツ屋」下車、徒歩9分



史跡／飛鳥～鎌倉

7世紀末に造られた寺院跡。東に塔、西に金堂、金堂の北に講堂を配置します。塔の心柱を支えた塔心礎は長径2.9m、短径2.8mで山陰地方最大級のもので、(写真上部の丸い石が塔心礎)



所在地 大原
公開状況 公開
交通 (バス) 倉吉駅から三朝線(三朝温泉行)・三朝温泉線で10分、「大原」下車、徒歩15分



保護文化財(彫刻)／江戸

千体仏の像造を発願し、全国行脚し各地に神仏像を残した江戸時代後期の遊行僧・木喰五行上人もくじきごぎょうしょうにんが寛政10(1798)年8月の滞在中に造像したものです。ケヤキ材の一木造で像高約100cm。防火の神として人々の信仰をみつめてきました。



所在地 八屋 秋葉堂
公開状況 公開(見学希望は事前に自治公民館長へ申し込み必要)
交通 (バス) 倉吉駅から市内線で5分、「八ツ屋」下車、徒歩15分



7世紀初頭に築造された直径18m、高さ6mの円墳または方墳です。山陰最大級の横穴式石室（全長8.3m）をもちます。玄室内の奥壁に密着して、遺体を納める石屋形状の石囲いがあるのが特徴です。



所在地 巖城 山名寺

公開状況 三明寺古墳：公開

木造阿弥陀如来及両脇侍立像：原則非公開

交通 倉吉駅から市内線で8分、「倉吉パークスクエア北口」下車、徒歩20分

駐車場 有



三明寺古墳



山名寺の本尊である阿弥陀三尊来迎像。中尊である阿弥陀如来像（写真中央）は来迎印を結び、左足をわずかに踏み出し、極楽浄土から迎えに来る「来迎」の姿を表しています。その脇侍である勢至菩薩像（写真左側）は腰をかがめ胸の前で合掌し、観音菩薩像（写真右側）は腰をかがめ両手を差し出しており、往生する人を乗せるための蓮台を持っていたと思われていますが、現在は失われています。いずれも1本の木から彫り出した仏像を木目に沿って割り、内部をくり抜いて再度矧ぎ合わせて仕上げる一木割矧造で作られています。鎌倉時代（13世紀中頃）の作です。



史跡／飛鳥～平安

7世紀中頃に造られた山陰地方最古級の寺院跡。寺名は「久米寺」で国府がおかれていた久米郡の郡名寺院です。伽藍配置は観世音寺式。僧の住む僧房は大規模な礎石建物で、寺院の西側には長大な上水道施設を完備していました。



所在地 駄経寺町2丁目
公開状況 公開
交通(バス) 倉吉駅からパークスクエア線で10分、「合同庁舎前」下車徒歩すぐ
駐車場 有



重要伝統的建造物群保存地区

倉吉は江戸時代から明治・大正時代にかけて、商工業都市として繁栄しました。保存地区は豊かな意匠を持つ町家が建ち並ぶ本町通りと、土蔵群と石橋が連続する玉川沿いが当時の景観をよく残しています。



所在地 倉吉市研屋町、魚町、東仲町、西仲町及び西町の全域、並びに、堺町1丁目、新町1丁目、新町2丁目及び新町3丁目の各一部

公開状況 公開 (内部非公開)
交通(バス) 倉吉駅から市内線で12分、「赤瓦・白壁土蔵」下車、南へ徒歩すぐ



倉吉市打吹玉川伝統的建造物群保存地区周辺の指定・登録文化財（建造物）



- | | | |
|---|-----------|-------|
| A | 旧牧田家住宅 | 13ページ |
| B | 大社湯 | 13ページ |
| C | 豊田家住宅 | 14ページ |
| D | 旧高田酒造醸造蔵 | 14ページ |
| E | 高田酒造 | 15ページ |
| F | 桑田醤油醸造場 | 16ページ |
| G | 旧第三銀行倉吉支店 | 17ページ |
| H | 倉吉市役所本庁舎 | 17ページ |
| I | 飛龍閣 | 18ページ |
| J | 賀茂神社本殿 | 18ページ |

A **市** きゅうまき たけしゅうたく **旧牧田家住宅(主屋・付属屋)**

有形文化財(建造物) / 江戸

「淀屋」を屋号とする牧田家は、江戸時代の倉吉を代表する商家の一つ。主屋は宝暦10(1760)年の建築。倉吉の商家建物の中で現存する最古の建物で、屋根を太い垂木で支える独特の構造です。付属屋は天保9(1838)年建築で、数寄屋風書院造。



所在地 東岩倉町
公開状況 公開
交通 倉吉駅から市内線で13分、「新町」下車、徒歩2分
(バス)
電話番号 倉吉淀屋 (0858) 23-0165
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 毎週木曜日・年末年始



B **国** たいしゃ ゆだいさんつる ゆ **大社湯(第三鶴の湯) 浴場及び主屋**

登録有形文化財(建造物) / 明治

明治40年頃に建築された銭湯。木造一部二階建、平屋切妻造、瓦葺。下部はレンガ造りで、番台、床板、天井板、タイルなど内装の大半が当初のままで残っています。



所在地 新町3丁目
公開状況 内部非公開
交通 倉吉駅から市内線で13分、「新町」下車、南へ徒歩
(バス) すぐ



とよた けじゅうたく く め ごおりくらよしえき
豊田家住宅(久米郡倉吉驛) 主屋、離れ

登録有形文化財(建造物) / 明治～昭和

本町通りに北面する木造二階建、棧瓦葺の伝統的町家。離れは渡廊下で主屋と接続し、熟達した和風の造形です。主屋は明治33(1900)年、離れは昭和5(1930)年の建築。



所在地 西町
公開状況 公開
交通(バス) 倉吉駅から市内線で13分、「新町」下車、徒歩2分
電話番号 (0858) 23-0440
開館時間 午前10時～午後4時
休館日 毎週木曜日



きゅうたか たしゅぞう
旧高田酒造 醸造蔵一、醸造蔵二

登録有形文化財(建造物) / 明治

主屋等の宅地の北側、玉川を挟んで建つ。蔵一の東側に蔵二が接し、両蔵の境は内部で開口し、一連の建物のようになっています。土蔵造平屋建、石州瓦葺で明治時代後期の建築。



所在地 新町2丁目
公開状況 内部非公開(店舗のみ公開)
交通(バス) 倉吉駅から市内線で12分、「赤瓦・白壁土蔵」下車、徒歩2分、パークスクエア線で12分、「白壁土蔵群前」下車、徒歩3分

木綿商、檜皮屋の四代宗茂が文久元（1861）年から醤油醸造を営み、昭和30年頃まで商いました。明治8年から現在に至るまで酒造を営む老舗です。天保14（1843）年建築の主屋をはじめ、明治後半まで段階的に建てられた醸造施設があります。

県 たかたしゅぞう
高田酒造(高田家住宅及び醸造施設)

保護文化財(建造物) / 江戸～明治

主屋は木造つし二階建てで、三列九間型。湾曲した腕木、トオリニワ境の虹梁状差鴨居、繊細な出格子や座敷の平書院など、倉吉の商家の典型例です。



名勝(庭園) / 江戸～明治

天保14（1843）年建築の主屋に面した中庭。鉢前はなつめ棗型の縁先手水鉢を据えて水琴窟とし、築山に三尊石を配した平庭。四代宗茂が明治26～29年に倉吉の豪商山形屋の茶室を庭奥に移しました。近世から近代の町家の古式に則った庭園です。



所在地 西仲町
公開状況 内部非公開（店舗のみ公開）
交通 (バス) 倉吉駅から市内線で12分、「赤瓦・白壁土蔵」下車、徒歩5分、パークスクエア線で12分、「白壁土蔵群前」下車、徒歩2分



F くわ た しょう ゆ じょうぞうじょう
桑田醤油醸造場

明治9（1876）年創業の醤油醸造場で、元々の屋号は山白屋。明治40（1907）年、東宮（後の大正天皇）山陰道行啓の際、随行した東郷平八郎の寝所となりました。

県 くわ た け じゅうたくおよ しょう ゆ じょうぞう し せつ
桑田家住宅及び醤油醸造施設

保護文化財(建造物)／明治～大正

明治初期の主屋を残し、大正4（1915）年に敷地全体を改修。施主は「東桑田」二代目勝平。近代的な意匠をもつ大規模商家の店構えで、醸造施設は近代の醤油醸造施設の形態をよくとどめており貴重です。



県 くわ た し て い え ん
桑田氏庭園

名勝(庭園)／明治

主屋西棟の茶室に接した坪庭と中庭（西庭、東庭）からなります。西庭は客間に、東庭は居間に面して作られ、両者の格の違いが素材に表われています。ともに平庭で、緩やかな築山に山の風情を造り、力強い鉢前・長大な沓脱石・大振りの石灯籠を配置しています。明治期の近代和風建築の町家に伴う庭園の好例です。



所在地 東仲町
公開状況 内部非公開（店舗のみ公開）
交通 倉吉駅から市内線で12分、「赤瓦・白壁土蔵」下車、
(バス) 徒歩3分、パークスクエア線で12分、「白壁土蔵群前」下車、徒歩2分



G 国 きょうどうくみあい くらよしだいてんかい きゅうだいさんぎんこう
協同組合倉吉大店会(旧第三銀行倉吉支店)

登録有形文化財(建造物) / 明治

明治41(1908)年に第三銀行倉吉支店として建てられた擬洋風建築。明治38(1905)年に魚町・堺町1丁目周辺を焼失した火災後に再建されたため、額面や軒裏が漆喰で厚く塗られています。内部は一部が改造されていますが、天井の飾りや階段などの建具は建設当時のまま残っています。



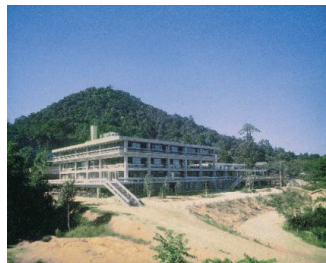
所在地 魚町
公開状況 内部非公開(店舗のみ公開)
交通 倉吉駅から市内線で12分、「赤瓦・白壁土蔵」下車、
(バス) 徒歩5分、パークスクエア線で12分、「白壁土蔵群前」下車、徒歩5分



H 国 くらよしし やくしょほんちようしゃ
倉吉市役所本庁舎

登録有形文化財(建造物) / 昭和

昭和31(1956)年建設のRC造3階建。丹下健三(広島平和記念資料館・東京都庁舎等の設計者)の設計。水平線を強調した外観、ピロティや中庭の吹き抜けの採用など、丹下健三の初期の庁舎建築の特徴をよく示しています。



建築当時

所在地 葵町
公開状況 公開(開庁日)
交通 倉吉駅から関金線(市役所経由)・広瀬線(市役所
(バス) 経由)・パークスクエア線で11分、「市役所・打吹公園入口」下車、徒歩5分
駐車場 有



I 国 飛龍閣 ひりゅうかく

登録有形文化財(建造物) / 明治

東宮（後の大正天皇）山陰道行啓の宿泊所として明治37（1904）年4月竣工。木造平屋建、入母屋造。施工者山田市平。屋内には御座所・寝殿・浴室・化粧室が造られました。意匠は質実で格式の高い和風建築。



所在地 仲ノ町（打吹公園内）
公開状況 公開（倉吉市役所へ事前申し込み必要）
交通 倉吉駅から関金線（市役所経由）・広瀬線（市役所
(バス) 経由）・パークスクエア線で11分、「市役所・打吹公園入口」下車、徒歩5分



J 国 賀茂神社本殿 かもじんじやほんでん

登録有形文化財(建造物) / 江戸

山城国（京都）の賀茂別雷神社を勧請（神様の御分霊を他の地にうつし祀ること）して創建。本殿は、江戸時代末期の建築。入母屋造妻入で、一間の向拝が付きます。虹梁上部の龍など、各所を精緻な彫刻で華やかに飾る優美な社殿です。



所在地 葵町
公開状況 内部非公開
交通 倉吉駅から関金線（市役所経由）・広瀬線（市役所
(バス) 経由）・パークスクエア線で15分、「総合運動公園入口」下車、徒歩5分



保護文化財(工芸品) / 江戸

滝沢馬琴の『南総里見八犬伝』のモデルといわれる安房国(千葉県)の大名・里見忠義の所蔵品で、死後、大岳院に寄進されたと伝えられています。直径32.5cm、高さ4.5cm。口縁は八稜形で地色は緑色。中国製の軟質陶器で明代の作と見られます。



所在地 東町 大岳院
公開状況 非公開



登録有形文化財(建造物) / 江戸～明治

18世紀後半に建築、明治時代後期に通りに面した表半分を瓦葺きの総二階に改造した町家。茅葺屋根を背後に残して鉄板で覆っています。内部は東に広いトオリニワ、西に一系列三間を配しません。茅葺町家の歴史を伝える建物です。



所在地 西岩倉町
公開状況 内部非公開(店舗のみ公開)
交通 (バス) 倉吉駅から市内線で14分、「福吉町」下車、徒歩3分



まるいけじゅうたく
国 丸井家住宅 主屋、離れ、土蔵、茶室、待合及び塀・袖垣、塀 **マップ11**

登録有形文化財(建造物) / 大正

丸井家は大正から昭和にかけて倉吉の茶道の中心をなしていた住宅。主屋は左右で棟の位置を離れた外観を持ち、赤く塗られた塀とともに独特な正面の景観を形作っています。茶室は京都の茶人平井仁兵衛の茶室の写しと伝えられ、外壁を赤く塗る草庵茶室の好例です。



所在地 越中町
公開状況 内部非公開
交通 倉吉駅から市内線で14分、「福吉町」
(バス) 下車、徒歩6分



くらしあらおけぼしよ いはいぐん
市 倉吉荒尾家墓所附位牌群 **マップ12**

史跡 / 江戸

江戸時代に倉吉を治めた鳥取藩家老荒尾氏の墓所です。打吹山の西端、長谷寺の庫裏近くの尾根にあり、初代たかなり嵩就から九代せつなり世就までの墓碑が整然と配置しています。位牌は満正寺に祀られています。



所在地 倉吉荒尾家墓所：仲ノ町
位牌群：満正寺

公開状況 倉吉荒尾家墓所：公開
位牌群：公開

交通 倉吉駅から関金線(山口行き)・パークスクエア線(広瀬行き)で20分、「長谷寺西口」下車、徒歩20分、長谷寺庫裏前を西へ道なりに進む



国 はせでらほんどうないずし
長谷寺本堂内厨子

マップ13

重要文化財(建造物) / 室町

長谷寺の本堂内にある山陰最古の厨子。室町時代後期の建造物。一重の入母屋造で、屋根はこけら葺きの大型の厨子。鎌倉時代に中国から伝わった建築様式「禅宗様」で造られた特徴が多く見られます。



はせでら
長谷寺

長谷寺は山号を打吹山、本尊を十一面観音菩薩坐像とする天台宗寺院です。養老5（721）年に法道上人によって北谷の長谷ながたにに開かれた後、現在の打吹山に移されたと伝えられています。

寺

院

小僧・上人

社

社

上野・成徳・明徳

上野・成徳・明徳

県 はせでらほんどうおよ に おうもん
長谷寺本堂及び仁王門

マップ13

保護文化財(建造物) / 安土桃山

本堂は寄棟造の懸造かけづくりで、五間四方の中世仏堂の典型例。天正年間に造営したと推定されています。仁王門は入母屋造の八脚門で、延宝8（1680）年の造営と伝わります。



本堂

県 ほんしょう
梵鐘

マップ13

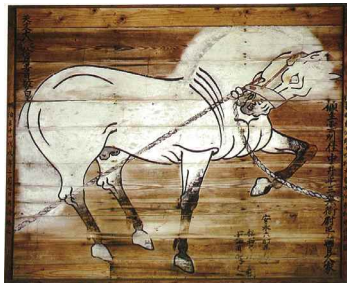
保護文化財(工芸品) / 室町

南北朝時代の北朝の年号銘「明德4（1393）年」があります。当時鑄造されたものとしては古い作風を残し、久米郡大谷村（現・大谷）の水田から掘り出されたものと伝わります。



有形民俗文化財(民俗資料) / 室町～明治

享祿4（1531）年から明治時代の絵馬63点を指定。画題は馬絵・武者絵・風俗画・歌舞伎絵・宗教画など多種にわたります。当時の庶民信仰、民俗等を知る貴重な資料で、絵馬から抜け出して畑を荒らした馬の伝説が伝わっています。



所在地 仲ノ町 長谷寺

公開状況 公開。木造十一面観音菩薩坐像：毎年2月第3土曜日とその翌日の縁日に開帳。
長谷寺の絵馬群：事前に長谷寺へ申し込み必要。



有形文化財(彫刻) / 室町

本堂内厨子に安置された長谷寺の本尊。ヒノキ材の寄木造で像高101cm、室町時代後期の作です。髪を結い上げた頭頂部に如来の仏面を、その周囲に菩薩面を10面付けます。眼は玉眼とし、眉間には光を放つという白毫を表します。



交通 倉吉駅から関金線（山口行き）・パークスクエア線（広瀬行き）
(バス) で20分、「長谷寺西口」下車、徒歩20分
駐車場 有（駐車場より山道を徒歩20分）

小川家は明治初期、三代富三郎より酒造業を営み、五代貞四郎は明治18（1885）年に製糸会社を設立。六代貞一は倉吉醤油株式会社を立ち上げ、実業家として活躍した一方で、学校の設立、茶の湯に精通するなど倉吉の商業および文化の発展に貢献しました。

県 おがわけじゅうたく **小川家住宅 主屋、ビン詰場、旧仕込蔵、二階蔵、三階蔵、道具蔵**
保護文化財(建造物) / 明治～大正

本通りに面して建つ主屋は明治中期の建築で、倉吉の伝統的な商家建築の特徴をよく示しています。昭和初期には東側に洋館、西側に新座敷が建てられ、時代の変遷を窺うことができます。



登録記念物・名勝(庭園) / 昭和

住宅の前庭・中庭・別区画の環翠園かんすいえんから構成されます。施主は地方財界の重鎮であった小川貞一で、昭和5（1930）年頃、神戸の庭師たつみ巽武之助が手がけました。松江の菅田庵かんでんあんと向月亭の写しである茶亭「南山荘」すがたてひこには、菅楯彦が昭和20～22年に疎開しています。個人の近代庭園の作例として山陰屈指のものです。



所在地 河原町・余戸谷町
公開状況 公開 環翠園 金・土・日（夏季・冬季休園）・要予約
交通 倉吉駅から市内線で16分、「河原町」下車、徒歩4分
(バス)



国 きゅうおぐらけじゅうたく 旧小倉家住宅 主屋、土蔵

マップ15

登録有形文化財(建造物) / 大正～昭和

本通り沿いに北面して建つ乾物販売を営んだ商家。主屋は切妻造の総二階建て、たちの高い造りや正面2階の大きな掃出し窓、手すりの意匠などに昭和前期の傾向が現れています。



所在地 河原町
公開状況 内部非公開
交通 倉吉駅から市内線で16分、「河原町」下車、徒歩4分



国 きゅうたかたけじゅうたく 旧高多家住宅主屋

マップ16

登録有形文化財(建造物) / 明治

河原町の本通りに面して建つ町家。明治35(1902)年の建築。旧倉吉町の商業最盛期の頃に建てられた店舗兼住宅で、間口が広い平屋の建物は希少です。



所在地 河原町
公開状況 内部非公開
交通 倉吉駅から市内線で16分、「河原町」下車、徒歩4分



きゅうくらくよしちゆうすいげんち
国 旧倉吉町水源 地 ポンプ室、量水室

マップ17

登録有形文化財(建造物) / 昭和

入口上部の切妻に水道マークと植物の浮彫をあしらい、ベランダ壁面に「萬斛泉」の石額を掲げた擬洋風建築。倉吉最初の上水道施設で昭和7年の開設。量水室はポンプ室から東へ100m。ともにRC造平屋建です。



ポンプ室

所在地 余戸谷町
公開状況 内部非公開
交通 倉吉駅から市内線で16分、「河原町」下車、徒歩7分



てつぞうはくさんほんじぶつぞう
県 鉄造白山本地仏像

マップ18

保護文化財(彫刻) / 鎌倉

阿弥陀如来立像。鎌倉時代の作で、像高33.0cm。本来は南部町の十一面観音立像、聖観音立像と併せて「白山本地仏」(石川県と岐阜県にまたがる白山に宿るとされる3神が仏の姿をとって現れたと解釈したもの)を構成するうちの1体で、貴重な鉄製の仏像です。



所在地 西岩倉町 吉祥院
公開状況 公開：事前に吉祥院へ連絡が必要。
交通 倉吉駅から市内線で14分、「福吉町」下車徒歩4分



もくぞう じぞう ぼさつりゅうぞう
市 木造地藏菩薩立像

マップ19

有形文化財(彫刻) / 平安

目を彫目とするヒノキ材一木造で像高約98cm。右手は体にそって垂下し、左手に宝珠を持ちます。衣紋の彫が浅く、体部が厚く作られ、平安時代の特徴を有します。



所在地 鍛冶町1丁目 満正寺
公開状況 毎年河原町地藏盆（8月23日）に開帳
交通 倉吉駅から市内線で14分、「福吉町」下車、徒歩12分
(バス)



もくぞう あみだ にょらいりゅうぞう
市 木造阿弥陀如来立像

マップ20

有形文化財(彫刻) / 鎌倉

像高97.4cm、玉眼、寄木造。来迎印を結び、右足をわずかに踏み出し、極楽浄土から迎えに来る「来迎」の姿を表しています。誓願寺が開かれたといわれている天正11（1583）年よりも古い鎌倉時代（13世紀中頃）の作です。その来歴は不明ですが、江戸時代の寛保2（1742）年に著された『ほうきみんげんき伯耆民諺記』には誓願寺の本尊である阿弥陀如来は、かつて長田神社（岡山県真庭市蒜山下長田）に祀られていたものであると記されています。



所在地 新町3丁目 誓願寺
公開状況 非公開



重要文化財(考古資料) / 古墳

国分寺古墳は大正11(1922)年に発掘され、き鳳鏡、三角縁神獸鏡、二神二獸鏡、多量の鉄製武器・農具が出土しました。鏡は、いずれも中国から伝わった銅鏡です。き鳳鏡は鏡背面に8羽の鳥(鳳凰)を配置したもので、全国でも出土例が23例と少なくめづらしいものです。



三角縁神獸鏡



二神二獸鏡



き鳳鏡

史跡 / 古墳

古墳時代前期の古墳。もともとは全長60mの前方後方墳もしくは前方後円墳と推定されます。大正11年に掘削した際、中心の埋葬施設と思われる粘土槨(木棺のまわりを粘土で覆う埋葬施設)が発見されました。江戸時代に再建された国分寺本堂造営工事により現在は原形を留めていません。



所在地 国府 国分寺

公開状況 伯耆国分寺古墳出土品：非公開
国分寺古墳：公開

交通 倉吉駅から社線・北谷線で25分、「国府」
(バス) 下車、徒歩5分

駐車場 有



史跡／奈良

天平13（741）年、聖武天皇の発願により全国の国ごとに造営された国立の寺院跡。寺域約2.9ヘクタール、東西182m、南北160m。主要建物の遺構は、南門、金堂、講堂、塔などが確認されています。



所在地 国府・国分寺
公開状況 公開
交通 倉吉駅から社線・北谷線
(バス) で25分、「国府」下車、徒歩10分
駐車場 有



史跡／奈良～平安

国庁跡は奈良から平安時代にかけて伯耆国を治めた役所跡。法華寺畑遺跡は国分寺跡と同じ8世紀中頃に造られ、当初は役所として使用され、後に国分尼寺に転用されたと推定されています。不入岡遺跡は奈良から平安時代に存続し、国庁の前身施設が、後に国府に関連する倉庫に転換されたと考えられます。



法華寺畑遺跡

所在地 国府・国分寺・不入岡
公開状況 公開
交通 倉吉駅から社線・北谷線
(バス) で25分、「国府」下車、徒歩15分
駐車場 有



保護文化財(彫刻) / 室町

安山岩を加工し、石の上部に阿弥陀如来像、その下に如来を拝んでいるような形に僧の姿が浮き彫りされています。高さ1.22m。「永和元乙卯年(1375)十一月□日」「願主道意」の銘があります(永和は南北朝時代の北朝系の年号)。道意は名和長年の四男と推定されています。



所在地 不入岡
公開状況 公開
交通(バス) 倉吉駅から社線・北谷線で25分、「国府」下車、徒歩20分



保護文化財(彫刻)

輝石安山岩製の5体の石仏。高さは50cmから85cm、幅は28cmから50cmのものがあります。伯耆国分寺跡塔基部の石を抜き取ってつくられ、制作者は不明です。



所在地 国分寺 社小学校
公開状況 公開(社小学校内)
交通(バス) 倉吉駅から社線・北谷線で25分、「国府」下車、徒歩10分、社小学校内



駐車場 有

よしだ ぼすい
吉田保水とその弟子による共同制作の100幅対の五百羅漢図。制作年は安永9（1780）年から寛政9（1797）年頃と推定され、欠けることなく全てが伝わっている100幅対の五百羅漢図としては日本最古のものです。羅漢の諸相を、「修行の様子」「神通力の発揮」「日常」の三種で表します。

保護文化財(絵画)／江戸



第46幅

保護文化財(書・絵画)／室町

山名氏尼子氏文書は、応永24（1417）年から永禄12（1569）年にかけて、山名氏や尼子氏が定光寺へ寺領を寄進、安堵した内容の10通です。県内では数少ない中世文書として貴重な史料です。肖像画には永徳2（1490）年の賛があります。



尼子経久肖像画

じょうこうじ
定光寺

定光寺は倉吉の中世を代表する曹洞宗の有力寺院。明徳3（1393）年に源賛を開基として曹洞宗となり、機堂長 応禪師が開山したと伝わっています。

所在地 和田
公開状況 非公開



市 さんど まいたいしょうづか こふん 三度舞大將塚古墳 (弥生墳丘墓) やよいふんきゅうぼ

マップ27

史跡／弥生～古墳

一辺21m、高さ3.5mの方形の墳丘墓で、墳丘中央部に河原石を敷きます。大正3（1914）年に倉光清六氏によって発掘され、多量の土器が出土したと伝えられています。現在はてあぶり 県立博物館に所蔵される手焙形土器1個と丹塗りの壺1個のみが倉光コレクションとして伝わっています。



所在地 大谷
公開状況 公開
交通 倉吉駅から赤碕線で19分、
(バス) 「大谷茶屋」下車、徒歩7分



市 かすわたいしょうづか こふん 上神大將塚古墳

マップ28

史跡／古墳

古墳時代前期の古墳で、直径25m、高さ3mの円墳。大正5年に大型箱式石棺が発掘されたと伝わります。三角縁三神三獸獸帯鏡、くわがた 鍬形石、こと 琴柱形石製品のほか、多くの玉類や鉄器が出土しました。これらの遺物の多くは東京国立博物館に収蔵されています。



所在地 上神
公開状況 公開
交通 倉吉駅から赤碕線で20
(バス) 分、「寺谷口」下車、徒歩7分



やぎけじゅうたく
国 矢城家住宅 主屋

マップ29

登録有形文化財(建造物) / 大正

大正2(1913)年築造の木造二階建、棧瓦葺の住宅。居室部中央の回り階段やトラス小屋組など近代的な特徴をもちます。(画像提供：鳥取県地域社会振興部)



所在地 横田
公開状況 非公開



あみだいじこふんぐん
国 阿弥大寺古墳群

マップ30

史跡 / 弥生

方形の墳丘の角に突出部を持つ「四隅突出型墳丘墓」3基から成ります。四隅突出型墳丘墓は弥生時代後期のもので小鴨川支流の国府川流域につくられました。1号墳は長さ17.8m、高さ0.8m、2号墳、3号墳はそれぞれ長さ8.8mと7.8m、高さ0.4m。



所在地 下福田
公開状況 公開
交通 (バス) 倉吉駅から高城線で30分、「上福田」下車、徒歩10分



だいにちじ

大日寺

大日寺は、平安時代の承和8（841）年、慈覚円仁大師の創建とも、永延2（988）年、恵心僧都源信の創建とも伝えられる天台宗の古刹。平安末期から鎌倉時代にかけて栄え、上院・中院・安養院の三院を中心に大伽藍だいがらんが並び、300宇の坊舎を有していたと伝わります。これら旧寺址には鎌倉時代から室町時代の五輪塔群があり、延久3（1071）年の銘がある瓦経がぎょうが出土しています。

所在地 桜

公開状況 公開（見学希望は事前に
大日寺へ申込み必要）

交通 倉吉駅から高城線（大立行き桜経由）
（バス）で30分、「桜」下車、徒歩15分

駐車場 有



国 木造阿弥陀如来坐像

マップ31

重要文化財（彫刻）／鎌倉

像高115cm、膝張91cm。ヒノキ材の寄木造で鎌倉時代の嘉禄2（1226）年の銘があります。目鼻立の小さな面貌表現を始めとして造形全体に平安時代後期の作風を残しています。



県 木造薬師如来立像

マップ31

保護文化財（彫刻）／平安

ヒノキまたはカヤ材の一木造で、像高152cm。平安時代中期から後期頃に造られたものです。衣の紋様の彫りが浅く、両ひざは同心円状に表現されているのが特徴です。



せきぞうだいにちによらいぎぞう
県 石造大日如来坐像 (大日寺)

マップ31

保護文化財(彫刻)／平安

安山岩の一石造で、像高60.1cm。腰を絞り、膝幅をゆったりととり、衣紋の彫りは浅く、ほぼ等間隔に彫られているなど平安時代後期の作風を示します。



もくぞう ぼさつぎょうりゅうぞう
県 木造菩薩形立像 (大日寺)

マップ31

保護文化財(彫刻)／平安

一木造で、像高158.5cm。本像は十一面観音像と伝えられており、制作年代は平安時代中期の10世紀と推定されます。奈良時代から平安時代初期に造立された仏像の特徴が各所に認められます。



だいにちじこぼぐん
県 大日寺古墓群

マップ31

史跡／鎌倉～室町

石造五輪塔を主体とした古墓群。鎌倉時代から室町時代の葬法、供養の内容を知ることができます。円地坊、頼朝墓、極楽峯と呼ばれる古墓群の3群を併せて大日寺古墓群としています。



だいにちじ おお
県 大日寺の大イチョウ

マップ31

天然記念物(植物)

胸高直径約1.8m、樹高約30mに達する大木。枝張りは東西23m、南北20m、雌木。大日寺の西方約500m離れた円地坊にあり、源信(942～1017年、平安時代中期の天台宗の僧)との関連が伝えられています。



県 おがももときよかしんれんしよきしやうもんきふだ
小鴨元清家臣連署起請文木札

マップ32

保護文化財(古文書)／安土桃山

天正10(1582)年頃、小鴨氏の家臣が誓約を交わし合ったことを記した木札です。平安時代末期から続く伯耆の有力者である小鴨氏の家臣12名の名前が記されています。因幡・伯耆両国の軍事情勢や、小鴨氏家臣団の実像を伺うことができる貴重な史料です。総高15cm。



県 もくぞうこまいぬ
木造狛犬

マップ32

保護文化財(彫刻)／室町～江戸初期

室町時代から江戸時代初期の作と推定されています。口を開く阿形像と口を閉じる吽形像一対から成ります。像高は阿形像39cm、吽形像39.5cm。県内で数少ない木造狛犬の中でも格調高く、造形的に優れています。



市 さんじゅうろっかせんがく
三十六歌仙額

マップ32

有形文化財(美術工芸品)／室町

天文6(1537)年の制作です。播州完栗郡柏野庄(現 宍粟市山崎町の南部)の八幡宮(現 山崎八幡神社)に願主宇野ばんしゅう し そうぐんかしわの しょう豊後守源村直が奉納したもの。本来は6枚組ですが、寛永9(1632)年池田光政・光仲の国替えの年に2枚を欠いた4枚組で小鴨神社へ移された可能性があります。



所在地 大宮 小鴨神社
公開状況 非公開



えいしやう じじゆうさんじゆうとう
県 永昌寺十三重塔

マップ33

保護文化財(建造物) / 鎌倉

昭和7(1932)年頃、岩倉城跡の南の山すそから出土。高さ3.7m、輝石安山岩製。相輪と塔身を補い永昌寺に移転、復元されました。



えいしやう じせきぞうほうとう
市 永昌寺石造宝塔

有形文化財(建造物) / 鎌倉

十三重塔出土地付近から出土。3基の宝塔は塔身のみ残ります。石造の宝塔は全国的にも珍しいものです。



所在地 岩倉 永昌寺

公開状況 公開

交通 (バス) 倉吉駅から広瀬線で30分、「岩倉」下車、徒歩10分

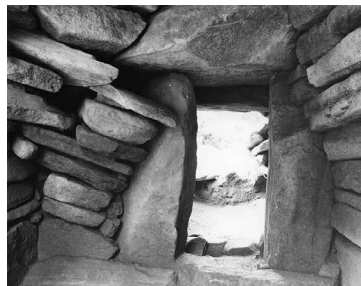


いえのうしろ こふんぐん
市 家ノ後口古墳群

マップ34

史跡 / 古墳～中世

2基の円墳と2基の中世墓から成ります。1号墳は「ごりょう塚」と呼ばれ、横穴式石室をもつ直径15m、高さ4mの円墳です。6世紀後半の築造と推定。中世墓からは青磁香炉、宋銭等が出土しており、岩倉城と関連があると考えられています。



1号墳石室

所在地 岩倉

公開状況 公開(石室内部非公開)

交通 (バス) 倉吉駅から広瀬線で30分、「岩倉」下車、徒歩6分



小鴨川の右岸、広瀬川との合流地点近くに位置する直径30m、高さ2.3mの円墳です。埋葬施設は南東に開口する全長5.2mの横穴式石室（古墳の側面に入口を設けた石室）



で、鉄刀、馬具、須恵器、玉類、耳環（環状の耳飾り）などが出土しました。6世紀中頃の築造で、倉吉でもっとも古い時期の横穴式石室の一つです。

所在地 大宮
公開状況 公開（石室内部非公開）
交通 倉吉駅から広瀬線で25分、
（バス） 「大宮」下車、徒歩5分



8世紀前半頃に建立された寺院跡。現在、塔心礎と金堂跡とみられる基壇が残っており、平成25（2013）年の発掘調査では金堂西側で回廊状の遺構を確認しました。伽藍配置は四天王寺式と推定されます。



所在地 石塚
公開状況 公開
交通 倉吉駅から関金線で40分、
（バス） 「石塚入口」下車、徒歩10分



有形文化財(建造物)／平安

五輪塔は平安時代中頃から造られ始め、鎌倉・室町時代に盛んに造られました。この五輪塔の総高は121cm。風輪の一部が欠けているほかは完全に残っています。築造年代は平安時代末期。伯耆地方では、最古の五輪塔と推定され、広瀬廃寺との関連も想起されます。



所在地 広瀬
公開状況 公開
交通 倉吉駅から広瀬線で30分、
(バス) 「広瀬」下車、徒歩11分



史跡／平安～鎌倉

池を中心に南を正面として北・東・西の三方に礎石建物を配した「臨池伽藍」の寺院跡で極楽浄土の様相を模したものです。平安時代末から鎌倉時代初頭にかけての浄土思想の展開と地方の古代寺院を知る上で貴重な史跡です。



所在地 広瀬
公開状況 公開
交通 倉吉駅から広瀬線で30分、
(バス) 「広瀬」下車、徒歩13分



重要文化財(彫刻) / 鎌倉

大滝山地蔵院に安置されています。ヒノキ材寄木造、総高約360cmの巨像。像内の支柱に墨書銘があり、建久3（1192）年に源頼朝の家人佐々木四郎高綱を奉行として造像したことを伝えています。顔立ちや上体の量感に鎌倉時代の特徴をもちます。



所在地 関金町関金宿 地蔵院
 公開状況 公開
 交通 倉吉駅から関金線で35分、
 (バス) 「関金温泉」下車、徒歩5分
 駐車場 有



保護文化財(建造物) / 江戸

江戸時代に大鳥居村の庄屋を勤めていた鳥飼家の住宅を平成3年に移築したものです。入母屋風茅葺屋根。広い土間に当地方特有のまや（牛小屋）が3頭分あります。江戸時代中期頃の建築です。

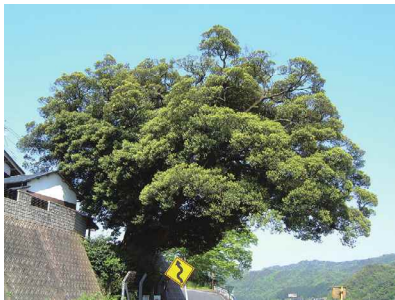


所在地 関金町関金宿
 公開状況 公開（内部見学希望は事前に文化財課へ申し込み必要）
 交通 倉吉駅から関金線で35分、「関
 (バス) 金温泉」下車、徒歩7分
 電話番号 文化財課（0858）22-4419
 駐車場 有



天然記念物(植物)

小鴨川の段丘上に立つ樹齢約400年のスダジイで、樹高18m、枝の広がり20×25mの巨木。「とっとりの名木100選」の一つです。



所在地 関金町安歩
公開状況 公開
交通 倉吉駅から関金線で34分、
(バス) 「関金入口」下車、徒歩11分



登録有形文化財(建造物) / 昭和

県三大河川の一つ、天神川の上流に設けられた堰堤。昭和9(1934)年室戸台風の大水害を契機に昭和12~19年に建設されました。災害との闘いを知る貴重な土木遺産となっています。 清水川第五堰堤



所在地 関金町堀、明高
公開状況 公開
交通 清水川堰堤：倉吉駅から関金線(明高行き)で46分、「下堀」
(バス) 下車、徒歩26分
小鴨川堰堤：倉吉駅から関金線(明高行き)で50分、「明高東口」下車、徒歩15分



小鴨川堰堤



第二号堰堤



清水川堰堤



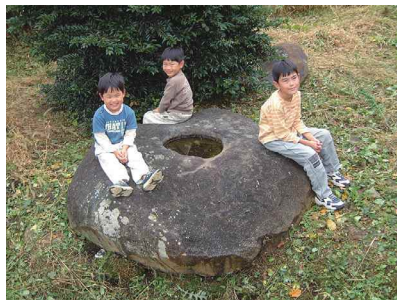
第一堰堤

市 藤井谷廃寺塔跡

マップ43

史跡／奈良

天神野台地上に立地する古代寺院跡です。享保19（1734）年の記録に礎石建物等4棟がみえ、伽藍の整った寺院があったようですが、現在は塔基壇と心礎が残るのみです。8世紀建立。



所在地 関金町松河原
 公開状況 公開
 交通 (バス) 倉吉駅から関金線（明高行き）で45分、「松河原上」下車、徒歩24分



市 大滝山観音堂 木造十一面千手観音立像

マップ44

有形文化財(彫刻)／江戸

大滝山観音堂の本尊。目を玉眼とする寄木造、像高105cm。頭上に十一面の変化面をいただき、真手を合掌し、脇手を含めて四十二臂像とします。天冠台に絡む頭髪のうちねりの表現や卵型の輪郭をもつ顔つきなど、鎌倉時代の造形を継承する手慣れた彫り口をみせます。江戸時代前期、貞享3（1686）年の洛陽大仏師 考浄の作です。



所在地 関金町関金宿 大滝山観音堂
 公開状況 非公開



くらはよはくぶつかん
倉吉博物館
くらはよれきし みんぞくし りょうかん
倉吉歴史民俗資料館

倉吉博物館では前田寛治、菅楯彦など倉吉とゆかりの深い画家の作品や、倉吉の遺跡から出土した考古資料を展示しています。隣接する歴史民俗資料館では生活や産業を代表する民具や農具など民俗資料を展示しています。



所在地 仲ノ町3445-8
公開状況 公開(公開状況は博物館へ要問合せ)
交通(バス) 倉吉駅から関金線(市役所経由)で15分、「市役所・打吹公園入口下車」、徒歩5分
電話番号 (0858) 22-4409
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始
駐車場 有



うえの いせきしゆつど こもちつぼがたす えき
上野遺跡出土子持壺形須恵器
きやくつき こもちつぼがたす えき
脚付子持壺形須恵器 (三江出土)

重要文化財(考古資料) / 古墳

山陰地方特有の6世紀後半の古墳に伴う供献土器です。25個の須恵器が穴に整然とならべられ埋まった状態で出土しました。このような出土例は類例がなく、一時的に須恵器を保管するための倉庫だったと考えられています。(文化庁所有)



とっとりけんのぐちいちごうふんしゅつどすえき
国 鳥取県野口一号墳出土須恵器 (志津出土)

重要文化財(考古資料) / 古墳

野口一号墳では、装飾子持壺付装飾器台 (写真中央)、七連杯付装飾器台 (写真両脇) など多量の須恵器が発掘調査により出土しました。いずれも6世紀後半に造られたものです。装飾子持壺付装飾器台には、狩りや相撲の様子などが小像で表現されます。



とっとりけんたにはたいせきしゅつどさいしいぶつ
国 鳥取県谷畑遺跡出土祭祀遺物 (上神出土)

重要文化財(考古資料) / 古墳

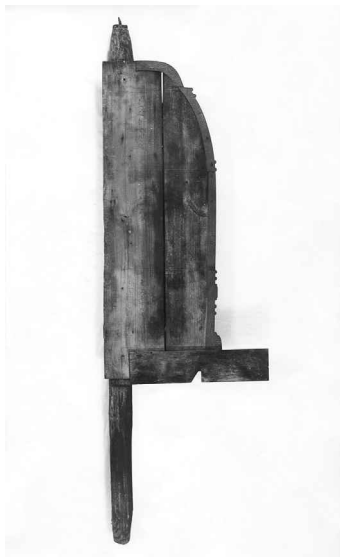
谷畑遺跡から出土した古墳時代後期の祭祀遺物です。人形、動物形の土製品や土製模造鏡、かまど、手捏土器、めのう製勾玉など多くの祭祀遺物が出土しました。古墳時代の生活を知るうえで重要な文化財です。



くらよし いもじ さいごうけ ようぐおよ せいひん
国 倉吉の鋳物師（斎江家）用具及び製品

重要有形民俗文化財（民俗）／江戸～昭和初期

さいごう
斎江家は、寛永3（1626）年に備中新見（岡山県新見市）から倉吉に移り操業したと伝えられます。江戸時代から昭和10年代までの間、鍋、釜をはじめすきさき鋤先や、ぼんしょう梵鐘に至るまでの多種多様な鋳物を製造し、広く供給しました。【写真：光明寺梵鐘基型】



くらよし せんぼこ およ かんれんしりょう
国 倉吉の千歯扱き及び関連資料

登録有形民俗文化財（民俗）／江戸後期～大正

幕末から大正期にかけて全国的に流通した倉吉の千歯扱きとその関連資料。千歯は米の脱穀機で、倉吉は独自の改良と行商による販売で全国に販路を広げ、「伯州倉吉産」としてのブランドを確立しました。千歯扱きの形態的な推移がわかります。



県 け さ だすきも ん どう た く
袈裟摺文銅鐸 (小田出土)

保護文化財(考古資料) / 弥生

昭和22 (1947) 年頃、小田の軍人墓地造成の際に1号鐸 (高さ30.4cm)、2号鐸 (44.3cm) が出土。両方とも袈裟摺文などで飾られており、弥生時代中期の製作と推定されています。出土位置が明らかで、県内唯一の複数埋葬例として貴重な資料です。【写真左から1号鐸、2号鐸】



県 どう ぞう た ん じ ょ う し ゃ か ぶ つ り ゅ う ぞ う
銅造誕生釈迦仏立像 (小田出土)

重要文化財(彫刻) / 奈良

明治22 (1889) 年、向山の山中を開墾中に発見されました。像高7.2cmの銅製品。釈迦が誕生したときの姿を表しています。7世紀後半から8世紀初頭のもので、長い間土に埋もれていたため表面が荒れていますが、わずかに鍍金が残ります。(個人所有、倉吉博物館に寄託)



県 どうぞうたんじょうしゃ かぶつりゅうぞう
銅造誕生釈迦仏立像 (胎蔵寺)

重要文化財(彫刻) / 奈良

山陰地方で最も古い7世紀中頃の誕生仏です。鑄造品で像高9.2cm。火災にあったため右手が曲がり、鍍金の一部がわずかに残っています。県内で誕生仏は3体確認されており、そのうち2体が市内に伝わります。

(胎蔵寺所有、倉吉博物館に寄託)



県 はにわじんぶつ
埴輪人物

保護文化財(考古資料) / 古墳

大正初期、天神野台地の桑畑(北野地内)から発見されたといわれます。現存高38.5cm。鉄鋌てつびょうを付けた甲かぶとを被り、丸い玉を連ねた首飾りを付け、髪を美豆良みずらに結った男性像です。顔には緑と赤の顔料2色を交互に塗り分けてイレスミを表現しています。胴部には三角板を寄せ合わせてつくる鎧よろいを線刻で表現し、武人であることを強調しています。



はにわじか
鹿形埴輪 (倉吉市巖城向山142号墳出土)

保護文化財(考古資料) / 古墳

昭和28 (1953) 年頃、山名寺の東方の丘陵にある円墳から発見されました。出土したのは頭から首の部分、右前足、後足、尾と部分的ですが、全体が復元されています。県内では数少ない鹿形埴輪の1例です。



ふにおかいせきこふんじだいたてあなじゅうきよしゆつどいぶついつかつ
不入岡遺跡古墳時代竪穴住居出土遺物一括

保護文化財(考古資料) / 古墳

朝鮮半島由来のL字形カマド (オンドル) を有した焼失住居の一括遺物。遺物には土器や鉄器、石器があり、古墳時代中期 (5世紀中頃) と考えられます。在地系の遺物と併せて筒形土器などの渡来系遺物が出土しており、渡来人との関わりをうかがうことのできる資料です。



あ み だ い じ や よ い ふ ん き ゅ う ぼ ぐ ん し ゅ つ ど い ぶ つ い っ か つ
県 阿弥大寺弥生墳丘墓群出土遺物一括 (下福田出土)

保護文化財(考古資料)／弥生

阿弥大寺弥生墳丘墓の1号墳丘墓から3号墳丘墓の突出部
 周辺を中心に出土。壺、甕、高坏、器台など日常に使用さ
 れるものがほとんどで、山陰地方の土器の変化を示す資料
 です。



お お み どう ば い じ あ と し ゅ つ ど い ぶ つ
県 大御堂廃寺跡出土遺物

保護文化財(考古資料)／奈良・平安

朝鮮半島とのつながりがうか
 がわれる銅製匙や銅製獣頭、
 豊富な種類の瓦など、山陰地
 方における先進的な仏教文化
 を示す資料です。



銅製獣頭



銅製匙



軒丸瓦

し せき ほう き こく ふ あ と し ゅ つ ど は ち り ょ う き ょ う い が た
史跡伯耆国府跡出土八稜鏡鑄型

保護文化財(考古資料) / 平安

伯耆国府跡で出土した日本独自の文様をもつ銅鏡の土製鑄型。鏡の合わせ型のうち、鏡背面の型です。形状は円盤状で、直径11cm、厚さ2cm。所々変色しており、被熱痕とみられることから実際に使用した後に廃棄されたものと考えられています。平安時代の瑞花ずいか双鳥八稜鏡そうちょうはちりょうきょうの鑄型として唯一で、遺存状態が良い重要な資料です。



ぶ が く せい が い は ず び ょ う ぶ す が た て ひ こ
舞楽青海波図屏風(菅橋彦作)

有形文化財(絵画)

菅橋彦(1878~1963)は近代大阪画壇を代表する画人のひとりで倉吉と縁の深い画人。六曲一双屏風の本作品は「源氏物語」紅葉賀中の「青海波」のイメージを表現したものとされます。舞楽絵図、源氏絵の歴史においても独自の画境に達した作品です。



右双 抜粋

他

関金

小嶋・上小嶋

北谷・高城

社

上灘・成徳・明倫

上北条・上井・西郷

市 ^{しゅんしやう ぎ こう ず びやう ぶ} **春宵宜行図屏風** ^{すがたてびこ} (菅橋彦作)

有形文化財(絵画)

春の宵の薄暗がりのなか、夜店のある通りを老若男女が行き交う様子を描いた六曲一双屏風。人々の姿かたち、屋台や犬などを濃淡をつけた墨でシルエット状に表しています。近代化により失われゆく古き良き大阪への追懐の念を映し出しています。



六曲左双 抜粋

県 ^{もくぞういなりぞう} **木造稻荷像** ^{かつすくね} (勝宿禰神社)

保護文化財(彫刻)／江戸

寛政10（1798）年8月に八屋を訪れた木喰五行上人の作。
もくじき ごぎょうしやうにん
 総高57.5 cm。背面に「寛政十年八月六日成就 木喰五行菩薩」などの墨書があります。（勝宿禰神社護神会所有、倉吉博物館に寄託）

県 ^{もくぞういなりぞう} **木造稻荷像** (神庭神社)

保護文化財(彫刻)／江戸

木喰五行上人作。他の木喰仏と同様の一木造で、像高65 cm。勝宿禰神社のものと同形ですが、冠の表現に差がみられます。背面に墨書がありますが判読できません。（神庭神社所有、鳥取県立博物館に寄託）



木造稻荷像
(勝宿禰神社)



木造稻荷像
(神庭神社)

県 そうせいじこうろ 宋青磁香炉・ぎぼし 擬宝珠 (地蔵院)

宋青磁香炉:保護文化財(工芸品)・擬宝珠:保護文化財(工芸品及び考古資料)

昭和15(1940)年に関金字天神原の県道常藤関金線工事で出土。青銅製擬宝珠2つを合せ口にし、中に中国宋代龍泉窯の青磁香炉を納めた経塚埋納品。擬宝珠に「伯州瀧山寺願主聖舜至徳二年…」と1385年の紀年銘があります。(地蔵院所有、鳥取県立博物館に寄託)



擬宝珠



宋青磁香炉

とっとりけんりつはくぶつかん
鳥取県立博物館

地学・生物、歴史・民俗、美術など3,000点余りの資料で鳥取県内の郷土の自然や歴史、美術をわかりやすく紹介しています。

所在地 鳥取市東町二丁目124番地

公開状況 公開状況は博物館へ要問合せ

交通 鳥取駅から市内回りで10分、西町下車、徒歩5分

(バス)

電話番号 (0857) 26-8042

開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)、祝日の翌日、年末年始

駐車場 有

倉吉の工芸技術・民俗資料

県 かすり 絣 (技術保持者 ふくい さだこ 福井貞子)

上井地区

無形文化財(工芸技術)

「倉吉絣」は豊富な模様と高度な技術による絵絣として知られています。技術保持者 福井貞子氏はその徹底した調査研究の上に伝統的技術を継承し、創作的な表現を多彩に展開している作家です。

県 とっとりけん かすりかんけい しりょう 鳥取県の絣関係資料

上井地区

有形民俗文化財(民俗資料)

福井貞子氏が長年にわたり収集した資料で、絣の生産過程を知ることができます。さらに旧蔵者への福井氏の聞き取り調査により、当時の社会背景や女性のくらしの変遷など、生活の一端をうかがうことができます。



県 せんしよく 染織 (技術保持者 よしだ こうのすけ 吉田公之介)

父・吉田たすく氏が研究復元した「風通ふうふう織おり」の技法を受け継ぎ、独自の工夫を加えて新たな表現を積み重ねています。後進の育成にも努め、織物技術の普及や伝承に大きく貢献しています。

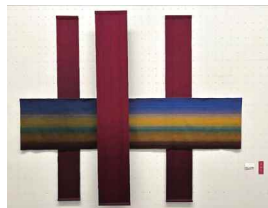
県 もっこうげい 木工芸 (技術保持者 ふくた ゆたか 福田豊) 社地区

無形文化財(工芸技術)

父 福田 祥氏は、鳥取県の民芸運動を主導した吉田璋也の指導を受け、様々な工夫を加えて、独自の吉田様式木工をつくり出しました。福田 豊氏は現在では唯一、吉田様式木工を受け継ぐ制作者です。

明倫地区

無形文化財(工芸技術)



「朝明の稔り」(画像提供:吉田公之介氏)



伸縮式中折傘木製電気スタンド

無形文化財(工芸技術)

福光焼の窯元・河本賢治氏は蹴轆ろく轆ろや面取といった民藝陶器の工芸技術を体得しつつ、独自の造形性を追求し、数多くの作品を発表しています。作品には同時代的感覚による洗練された民藝的美感が表現されています。



「飴黒釉搔落手檜円蓋物」
(画像提供：鳥取県立博物館)

登録有形民俗文化財(民俗)／明治～昭和

鳥取県において明治後期から栽培されてきた二十世紀梨に係る栽培用具を取りまとめたものです。養蚕の後継産業として重要な役割をはたした二十世紀梨栽培のあり方が伺えます。



(画像提供：鳥取県地域社会振興部)

所在地 駄経寺町 鳥取二十世紀梨記念館
公開状況 公開
交通(バス) 倉吉駅からパークスクエア線で12分、「倉吉パークスクエア」下車、徒歩2分
電話番号 (0858) 23-1174
開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時40分まで)
休館日 毎月第1・3・5月曜日、年末年始
駐車場 有



倉吉の民俗・伝統芸能

市 みつぼし踊り (福光伝承)

社地区

無形民俗文化財(民俗)

倉吉を中心とした東伯郡内に伝わる盆踊り。室町時代の伯耆守護の山名氏が美作（岡山県）の三星城を落とした際に踊られた念仏踊りが踊り継がれ広まったと伝わります。



市 倭文神社大名行列

北谷地区

無形民俗文化財(民俗)

倭文神社の春の例大祭に奉納される神幸式の行列。一説によると江戸時代の終わりごろに大名行列の様式を取り入れたと言われます。昭和13年には神社の県社昇格に合わせて道具が新調されて行列の充実が図られました。所作等は関金大鳥居神社が手本になったとされます。



市 牛追掛節

高城地区

無形文化財(芸能)

安土桃山時代、大坂城（天正11（1583）年完成）が築城されるとき、この地方からも労働に人が駆り出されました。当時、巨石や大木を運搬する人や牛を元気づけるために歌われたとされる芸能です。



市 生田の管粥神事

小鴨地区

無形民俗文化財(民俗)

旧暦の1月14日から15日にかけて行われる神占いの一種。14日の夕方から八幡神社で米と竹筒12本を一緒に炊き上げ、翌朝、生田の水谷家でその竹筒を割り、中に入っている粥の量によってその年の農作物の豊凶を占う行事です。



県 さいとりさし

関金地区

無形民俗文化財(民俗芸能)

「さいとりさし刺鳥刺」は殿様の鷹狩の餌にする小鳥をトリモチで捕る職のこと。天下御免の鑑札を持ち、権力を笠に着て横暴を重ねていたのに対し、民衆が日頃のうっぶん晴らしにさいとりさしの鳥を逃がして叱られる様を踊ったのが始まりと伝えられる民俗芸能です。



上北条・上井・西郷

上灘・成徳・明倫

市 せきがね み ゆきぎょうれつ 関金御幸行列

関金地区

無形民俗文化財(民俗)

関金町の湯関神社・大鳥居神社・日吉神社の3社の秋季例大祭で行われる大名行列を模した行列で、起源は江戸時代後期の天明年間(1781～1789)に遡るといわれます。行列は湯関神社・大鳥居神社・日吉神社の順に3社で違う所作・構成で、行列が同時に進行する形態に特色があります。



社

北谷・高城

小鴨・上小鴨

倉吉の年間行事

4月	倉吉春まつり (4月～5月中旬)
	くらよし打吹流しびな (4月第1日曜)
	関金つつじ温泉まつり (4月第3日曜)
	倭文神社大名行列 (4月29日)
8月	倉吉打吹まつり (8月第1土曜・日曜)
	河原町地藏盆 (8月23日)
9月	関金御幸行列 (9月第3日曜日前後)
2月	長谷の牛玉授け (2月第3土曜日)
	長谷の観音市 (2月第3日曜日)
	生田の管粥神事 (2月～3月初旬)

関
金

他

お問い合わせ

倉吉市経済観光部 文化財課

〒682-8633

鳥取県倉吉市堺町2丁目253番地1

TEL 0858-22-4419



FAX 0858-22-2303

E-mail: bunkazai@city.kurayoshi.lg.jp

平成30年（2018年）10月刊行

令和3年（2021年）1月2刷

令和6年（2024年）3月2版1刷

表紙表：菅楯彦筆 舞楽青海波図屏風（左双）

表紙裏：同（右双）

